

「たね」を通して見た食と農の持続可能性についての啓発活動

活動地域  東京都



課題

「たね」をめぐる考え方は立場の違いや情報の所在の偏りから、主体的に考え責任ある取組みに関わることができたであろう多くの市民の関心を集めることができていた。

目標

講師等、啓発活動の担い手の育成拡大。環境、農、食をテーマとする市民団体のネットワークや国会議員連盟の発足。種子生産条例制定の自治体の増加。ウェブ等閲覧数の増加。



今後の展望

活動を通して見えてきた問題や課題をとりまとめ、農と食から新しい社会をつくるための提言を行う。調査活動や現場見学取材を継続、独自の情報提供をする。オダイズサイ等で出会った人との繋がりをもとに運動を広げる。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

オンライン連続講座「大豆栽培」、「国連小農宣言・家族農業の10年に学ぶ」を開催。都道府県の種子生産状況アンケート調査、豆腐・納豆、ビール、食用油の原材料に関する公開質問、ぶどう・梨、米の育種・生産現場の見学取材、ゲノム編集トマト種苗メーカーの取材、有機農業生産者が運営するSeedバンクの見学、農業生物資源ゾーンバンクの見学。ゲノム編集や種苗法をテーマにカフェを開催。啓発ツールの作成。栃木県の高校内にあるSOYプロジェクトとの共催で「オダイズサイ2021～たねと土の約束～」をオンライン開催。



調査及び取材活動 **79** 団体

講座等啓発活動 **69** 回

今年度計画の達成度 **95** %

目標達成度 **95** %

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

社会状況により当初計画を柔軟に見直しながらの活動となったため、当初の予定通りに活動が組めず、後半に活動が集中してしまった。

■ 工夫した点

講座はオンライン開催とし、参加者への事前事後のフォローを行った。調査活動及び少人数でできる取材活動の報告を広報紙に掲載。

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-21ちよだ
プラットフォームスクエア1342
電話：03-6869-7206
E-mail：info@nongmseed.jp
HP：https://nongmseed.jp/

